

平成26年度

湯梨浜町教育行政の点検及び評価

平成27年6月

湯梨浜町教育委員会

目 次

はじめに

・・・・・・・・ P 2

平成26年度湯梨浜町教育委員会点検・評価の一覧

・・・・・・・・ P 3

重点目標の総括

・・・・・・・・ P 5

教育委員会議及び教育委員の活動

・・・・・・・・ P 42

はじめに

教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

湯梨浜町教育委員会は、まちづくりのテーマである『げんき・いきいき・かがやきのまちづくり』を目指して、基本理念である「次代を担う 心豊かな 人づくり」の実現に向けて、住民を主役とした生涯学習の推進と学校教育の充実の向上に努めているところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）されました。

この改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会が所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

湯梨浜町教育委員会は改正の趣旨に即し、平成26年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(平成19年6月27日一部改正)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成26年度湯梨浜町教育委員会点検・評価の一覧

湯梨浜町教育委員会では、『平成26年度湯梨浜町教育要覧』にまとめている下記の重点・具体的施策を「目指すところ、施策の自己評価、H26成果、H26課題及びH27対応方針」の項目別に点検・評価を行い、この結果に対して、教育委員または社会教育委員が意見・評価を実施しました。

- 1 生涯にわたって自ら学び、その成果を社会で生かし、明日を託す子どもたちに還元する体制づくり
 - (1) 人がつながる学びの機会と場の提供
 - (2) 子育て・親育ちの家庭教育の充実
 - (3) 子どもと関わりをもつ地域の仕組みづくり

- 2 ワンランクアップの「知」「徳」「体」の調和のとれた学校教育の推進
 - (1) 進路が保障される学力の定着
 - (2) 美に感動する心と行動化への意欲づけ
 - (3) スポーツの習慣化
 - (4) 幼保一体の幼児教育の推進
 - (5) 特別支援教育の充実

- 3 学校を支える教育環境の整備
 - (1) 中学校統合の推進
 - (2) 15年一貫教育の創造
 - (3) 学校支援ボランティアの拡大と定着

- 4 町民1人1スポーツの推進
 - (1) 生涯スポーツの全国発信
 - (2) 競技スポーツが継続できる環境整備
 - (3) 健康づくりのウォーキング

- 5 歴史的文化遺産の活用と新たな文化の創造
 - (1) 文化財解説ボランティアガイドの育成
 - (2) 文化活動のサークル育成

- 6 湯梨浜町教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり
 - (1) 町民との協働による開かれた教育行政の推進
 - (2) 関係機関・団体との連携・協力の推進

【自己点検・評価の流れ】

- ① 毎年教育委員会としての重点目標を策定（毎年3月まで）
↓
- ② 事務局（教育総務課、生涯学習・人権推進課）による自己評価
↓
- ③ ②の自己評価に対して教育委員等の意見を求める
↓
- ④ 教育委員会において、議会に報告する報告書を提出し承認を得る
↓
- ⑤ 報告書を町議会に提出し、報告する（毎年6月定例町議会）
↓
- ⑥ ホームページ等で町民に公表する
↓
- ⑦ ①の中間報告を実施（毎年10月の教育委員会で報告）

※到達度について

目指すところへの到達状況を、今までの取組により得られた成果を踏まえて自己評価を行う。

到達度	各施策の目指すところについて
A	目的・目標を達成した
B	ほぼ計画（予定）どおりに実施した
C	取組みは進めたが、成果が出ていない
D	取組むことができなかった

重点目標の総括

- 1 生涯にわたって自ら学び、その成果を社会で生かし、明日を託す子どもたちに還元する体制づくり

平成26年度における公民館、図書館及び人権関係の各種事業については、おおむね計画どおりに実施できた。特に、人権啓発事業の一環として取り組んだ「人権コンサート」には、500人を超える幅広い年齢層の参加があり、参加者の評価も良好であった。

図書館事業においては、情報発信や各種講座・作品展等の開催に積極的に取り組み、利用者増に取り組んだ。

公民館関係事業は、新しい体制のもとで地域活性化推進員の協力を得ながら、着実に各種の講座が実施できた。しかしながら、公民館運営委員の役割の確立や地域活性化推進員と公民館運営委員の連携など、事業を展開する中で見えてきた課題もあり、参加者の拡大や事業の充実などとともに、今後とも改善に取り組む必要がある。

- 2 ワンランクアップの「知」「徳」「体」の調和のとれた学校教育の推進

学力向上・授業改善を目指した取り組みであったが、4月に行われた全国学力・学習状況調査では県及び国の平均点をほぼ全ての項目で上回り、12月・1月実施の学力検査でも良好な結果であった。

課題である家庭学習の充実に向けて、「町版家庭学習の手引き」を作成し配布することができた。

特別支援教育については、各校での支援会議等充実させることができた。

- 3 学校を支える教育環境の整備

教育環境の整備のため町内の2つの中学校を統合する。平成26年度は長江地区に新中学校・学校給食センターの建設地を決定し農振除外、農地転用、用地買収を実施。その後、基本設計、造成工事に着手した。

基本構想で示している平成32年度の完成は最長であり、今後の計画として1年でも早い開校とし、より良い教育環境の整備を目指したい。

15年一貫教育の創造に向けては幼児と児童、指導者相互の交流に加え、児童生徒理解の視点に立った研修会を異なる校種間の教職員で合同開催した。子どもを中心に

据えた一貫教育の視点から意見交換、協議ができた。具体的には、園児、児童の体験入学、小学校教諭による保育所・幼稚園参観、合同授業研究会等がある。研究協議の場面では、校種を超え、15年一貫教育の視点で意見を交わすこともできた。

また、平成23年度から始めた「地域で育む学校支援ボランティア事業」では、学校の取組みを支援するボランティア活動とコーディネーターの関わりが定着しつつある。学校によっては、更に学校のニーズに合った活動と人材の掘り起こしが必要などころもある。

4 町民1人1スポーツの推進

生涯スポーツの全国発信としての主要事業であるグラウンド・ゴルフ発祥地大会、ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会及び全国ベテラン卓球大会については、計画どおりに開催することができ、参加者にはおおむね好評であった。

ベテラン卓球大会では、町制施行10周年記念事業の一環として、県外から著名な選手を招聘し、大会の活性化に取り組んだ。

町民を対象にした大会等については、ニュースポーツやウォーキングの普及推進に積極的に取り組み、参加機会の拡大に努めた結果、全体的には前年度以上の参加が得られたが、町民大会の地域的な偏りや参加者の固定化などの課題は解消されていない。

今後とも、参加者のニーズを反映した「参加しやすい大会」、「参加したい大会」となるよう、町体育協会と連携して改善に努めることが必要である。

5 歴史的文化遺産の活用と新たな文化の創造

地域の歴史と魅力に光を当てる取り組みとして「ふるさと再発見事業」や県内の史跡・博物館等での現地研修等を実施し、多くの参加者を得た。また、文化財の維持管理等についても計画どおりに実施し、適正な保護・保存に努めた。

文化活動の成果の発表機会である住民作品展や芸能大会には、多くの町民の参加をいただいたところであるが、住民作品展の参加者には少し減少傾向がみられるため、引き続き、活動の場の提供やサークル交流会の開催などを通じて、文化活動の振興や交流活動の推進に努めたい。

6 湯梨浜町教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

教育振興基本計画の目標実現のため、教育要覧を毎年見直し周知を図るとともに、確実に教育行政の点検評価の実施・公表を行う等体制づくりを進めた。平成27年度は、「湯梨浜町教育振興基本計画」の計画期間最終年であり、目標達成のための体制強化のため外部評価を取り入れ、課題等を明確化し、次期「湯梨浜町教育振興基本計画」につなげていくよう努める。

1. 生涯にわたって自ら学び、その成果を社会で生かし、明日を託す子どもたちに還元する体制づくり

目指すところ	(1) 人がつながる学びの機会と場の提供	
施策の自己評価	a 3 公民館（羽合地域・東郷地域・泊地域）がそれぞれの地域の利用者のニーズに対応した各種講演会、講座、研修の充実 ・女性教育、成人教育、家庭・青少年教育、体育・レクリエーション等に関する事業の展開、充実	A
	b 地域の要望にもとづく各課との連携した出前講座の開設 ・健康、介護予防、消費生活、男女共同参画啓発等の講座の実施	C
	c 公民館活動の学習成果の発表の場の提供および公民館を活用しての作品展の開催 ・湯梨浜芸能大会、住民作品展、館内ロビー展の実施	A
	d 利用者がいつでも気持ちよく気軽に来館、利用するための施設、設備の維持管理及び職員の接遇研修の徹底	A
	e 町民の多様な要求に応えるため、時代に即した幅広い分野の図書の購入及び資料収集	B
	f 利用増進を図るため、新着図書情報の発行・広報紙への掲載及びホームページ等による情報発信	A
	g 町民の求める図書の積極的貸出及び学習相談の応対	B
	h 図書館の活動をPRしながら貸出利用を促進するための子育て支援事業のブックスタートへの協力	A
	i 小さい時から本に親しんでもらうための幼児・児童を対象とした絵本の読み聞かせ会の実施	A
	j 図書館活用講座・作品展等の開催による図書館の利用促進	A
	k 人権教育及び人権啓発の推進を図るための各種大会等研修会への派遣	A
	l 「ゆりはま人権セミナー」による教育・啓発研修事業の実施	A
	m 人権教育推進員の指導・助言による人権教育推進体制の充実	A
	n 各種団体が主体的に取り組む人権学習・研修の推進	A
	o 人権教育研究推進員等の資質向上と各種事業の評価	A
p 障がい者への理解を深め、お互いが温かく支えあって生き	A	

	ていくことができる差別のない住みよい町づくりを目指した町民のつどい（人権コンサート）の開催	
	q 町民の人権尊重意識の普及・高揚を図ることを目的とした、人権教育推進のための「人権フェスティバル（仮）」の開催	A
	r 住民の様々な相談に対する生活相談員のきめ細かい対応	A
	s 地区住民の福祉向上と児童の健全育成に資する隣保館・児童館運営活動の充実	A
	t 地区内の各種団体活動の支援	A
	u 解放文化祭による人権文化の高揚の推進	A
	v 地区児童・生徒等の人権教育を主体的に推進するための学習活動の補助	A
H 26 成果 及び取組状況	<p>a 一般教養講座</p> <p>① 「神田織音講演会－講談で学ぶ認知症・成年後見人制度－」 9月 191人</p> <p>② 囲碁将棋大会 8月 台風のため中止</p> <p>③ 湯梨浜文化大学（5月～3月開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体教養講座（音楽、健康、社会見学等） 10回開催参加者延べ 987人 ・趣味講座（童謡唱歌・書道・絵手紙・グラウンドゴルフ等 16コース） それぞれ7回ずつ開催 参加者延べ 1,457人 <p>【中央公民館】</p> <p>女性教育 5回実施 参加者延べ102人 成人教育 15回実施 参加者延べ234人 青少年・家庭教育 4回実施 参加者延べ161人参加 体育・レクリエーション 2回実施 参加者延べ179人参加</p> <p>【羽合分館】</p> <p>女性教育 6回実施 参加者延べ128人 成人教育19回実施 参加者延べ396人 青少年・家庭教育 17回実施 参加者延べ393人 体育・レクリエーション 2回実施 参加者延べ54人</p> <p>【泊分館】</p> <p>女性教育 2回実施 参加者延べ18人 成人教育 4回実施 参加者延べ54人 青少年・家庭教育 7回実施 参加者延べ90人 体育・レクリエーション 4回実施 参加者延べ136人</p>	

	<p>b ・舎人地区出前講座 3回実施</p> <p>① 「舎人歴史めぐり」7月実施 13名</p> <p>② 「寄せ植え教室・人権教育研修会」12月実施 20名</p> <p>③ 「健康教室」1月実施 19名（長寿福祉課と連携）</p> <p>・花見地区出前講座「手芸教室」 1月実施 10名</p> <p>・上浅津地区出前講座 2回実施</p> <p>① 「高齢者趣味講座」 5月実施 14名</p> <p>② 「手芸教室」2月実施 13名</p> <p>・橋津地区出前講座「高齢者健康教室」11月実施 28名</p> <p>・宇野地区出前講座「趣味講座」11月実施 32名</p> <p>・下浅津地区出前講座「歴史講座」3月実施 42名</p> <p>c 住民作品展（出展者数 399人 出展作品数 740点）</p> <p>出展者数前年対比 91.7%</p> <p>芸能大会（出演団体数 34団体 出演者数 217人）</p> <p>出演者数前年対比 107.9%</p> <p>ロビー展 中央公民館 9回開催</p> <p>羽合分館 3回開催</p> <p>泊分館 14回開催</p> <p>d 維持管理・・常時、管内清掃及び美化活動を実施</p> <p>職員の接遇研修は、2回実施（11月、3月）</p> <p>e 利用者のニーズ、各分野のバランスに配慮しながら計画的な購入を行った。</p> <p>f 新着図書情報月 2回発行、広報（本の広場）に毎月掲載、ホームページ、TCC等で情報発信を行った。</p> <p>（H26 貸出実績 130,326冊）</p> <p>g 利用者の調べものや探しものに対して積極的に対応し、図書館サービスの充実を図った。</p> <p>h 乳幼児へのブックスタート 6回、1歳児検診時の読み聞かせ 4回を実施し図書館のPRを行った。</p> <p>i おはなし会による絵本の読み聞かせを 14回実施した。</p> <p>j 大人の音読会 6回、作品展・パネル展示等 11回実施し利用促進を行った。</p> <p>k 各種大会等に職員・関係者を派遣し、研修・交流を図った。</p> <p>1 年 3回実施し、「同和問題」「障がい者問題」「インターネットによる人権侵害」について研修し認識を深めた。</p> <p>（参加延人数 534人、理解度平均 98.3%）</p> <p>m 新たに縁結び支援員対象の人権教育研修会を 2回実施。また人</p>
--	--

	<p>権教育研究推進員対象のワークショップ形式の研修等を実施。</p> <p>n 人権フェスティバルをはじめ各部会が主体となって研修会等を実施した。</p> <p>o ワorkshop形式の研修会、「六曜」についての研修を実施。人権教育・啓発事業の評価を実施。</p> <p>p 人権コンサートでは500人を超える幅広い年代層(10代～90代)の参加あり、理解度・満足度は98%。また、障がい者スポーツ体験(風船バレー)に小学生の参加が多くあり、障がいについて知ることができてよかったと感想があった。</p> <p>q 各種研修会、講演会後のアンケートでは、満足度・理解度とも毎回、95%を超える高い数値だった。</p> <p>r 文化会館を拠点として生活相談を行った。引き続き、浜地区へも毎月2回(第2・4水曜日の午後)に相談員が出向き生活相談を実施した。 浜地区へ毎月発行している「手づくりタイム」に相談日を記載して相談会の広報を行った。</p> <p>s 周辺住民も取り込んだ児童館事業の実施を行った。毎月2回田畑児童館、浜児童館において「Jパラダイス」「手づくりタイム」を実施。田畑児童館の参加者は330名の参加目標に対して383名の参加。浜児童館の参加者は90名の目標に対して166名の参加があった。2館とも目標以上の参加者があった。 また、「フラワーアレンジメント教室」等の文化会館事業を3回開催した。</p> <p>t 同和問題解決に向けた、集会、学習会、研修会に参加した。支部活動費として田畑支部(諸団体3)浜支部に補助金を支出した。</p> <p>u 実行委員会を開催して、12月6日と7日に2地区で解放文化祭を開催した。昨年からの催事を1日に集約して実施しているが、昨年を上回る参加があった。 H25 参加者899人(2館)、H26 参加者926人(2館)</p> <p>v 同和地区等の小・中学校児童生徒を対象に、人権学習・仲間づくりを主に毎週学習会を実施した。学習会で学んだことを、解放文化祭や閉校式で発表し差別に負けない力を身につけた。</p>
H 26 課題	<p>a 各地区公民館の事業は、「参加しやすいが分館の事業は身近でないので、参加しにくい」という声が多かった。</p> <p>b 講座については、地域の要望により、地域活性化推進員の企画によるものが多かった。各地区の公民館運営委員と地域活性化推進員と連携した出前講座の開催が必要である。</p>

	<p>c 羽合分館でのロビーの有効活用し作品展示の検討が必要。</p> <p>d 接遇研修の開催が少なかった。</p> <p>e 限られた予算の中での図書・資料の収集は限界があり、県立図書館・他市町の図書館からの相互貸借により対応せざるを得なかった。(H26 2月末実績 他町等借入6,148冊、貸出1,088冊)</p> <p>f 引き続き情報発信に努める。</p> <p>g 図書等の相談に即時に対応できるような資料の利便性の向上を図る必要がある。</p> <p>h ブックスタート対象者の図書館の利用促進を図る必要がある。</p> <p>i おはなし会への参加者を増やし図書館の利用促進に努める。</p> <p>j 大人の音読会の参加者を増やすとともに、作品展等を通じて、図書館の利用促進を図る必要がある。</p> <p>k 研修の成果を活かす取組みが必要である。</p> <p>l 今後もアンケート結果を反映させたテーマを基に実施していく。</p> <p>m 参加者の会話から身近な問題を解決するヒントを見つけることができるワークショップ形式の研修の広報を進める。</p> <p>n 各部会ごとの事業の充実を図ることが必要である。</p> <p>o 人権教育研究推進員のより一層の資質向上が求められる。</p> <p>p 幅広い年代の参加者増をめざし、魅力ある事業展開が求められる。</p> <p>q 参加者増をめざし魅力ある事業展開と広報の工夫が求められる。</p> <p>r 引き続き浜地区の相談日を定着させていく。</p> <p>s 周辺地域を含めた多くの子供たちが児童館事業に参加するように、広報を引き続き行うとともに、「Jパラ」「手づくりタイム」を工夫していく必要がある。</p> <p>t 諸団体活動の見直しを行い、諸団体の補助金は本年度で終了とした。</p> <p>u 昨年から催しを1日に集約して行っている。参加者にも1日開催が定着してきた。催しの無い日も参加者が関心を持って参加するような工夫が必要。</p> <p>v 地区生徒が減少し、学年別学習や視察研修などの実施に支障が出るようになった。</p>
--	--

<p>H27 対応方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> a 各分館で公民館運営委員会での意見を事業に反映し、地域活性化推進員と一体となって各種講演会、講座等を年間を通して開催する。 b 各地区の公民館運営委員の役割として、出前講座を地域活性化推進員と連携して企画していただくようにする。 c 利用者の方がいつでも気持ちよく気軽に来館できるよう館内の清掃美化及びより良い接遇に努める。ロビー展も町内外の個人及び団体を勧誘し充実させる。羽合分館での展示事業ができるよう創意工夫する。 d 接遇研修を職員事務調整会議の際、積極的に実施する。 e 限られた予算の中で効率的に図書・資料を購入するとともに、相互貸借制度を利用しながら町民の要望に応える。 f 広報、ホームページ等の情報発信に努めて図書館の利用促進を図る。 g 図書等に関する相談に迅速・的確に対応できる体制作りと資料等を充実させる必要がある。 h ブックスタート後の取り組みとして1歳児検診時の読み聞かせ、図書館主催のおはなし会を行い図書とのふれあいを促進する。 i 図書館主催のおはなし会をボランティアグループの協力を得ながら月1回以上実施したい。 j 大人の音読会の参加者を増やすとともに出前による音読会も開催して、図書館の利用促進に努めたい。 k 児童・生徒数の減少等による研修参加への支障がないように配慮していく。 l アンケート結果を反映させ、住民のニーズにあった魅力あるテーマに取り組んでいく。 m ワークショップ形式の研修の広報・実践に向けて取り組んでいく。 n 各部会、人権教育地区座談会等に積極的に関わっていく。 o 平成28年度実施予定の住民意識調査に向けて計画的に取り組む。 p 障がい者体験ができるような研修機会の実施。 q 参加者増をめざし、内容を検討するとともに幅広く広報に努める。 r 広報を行い引き続き浜地区の相談日を定着させていく。また、相談日には、事務室以外の相談できる部屋を用意する。 s こども園、小学校への広報を引き続き行うとともに、遊びと体
-----------------	--

	<p>験を通して、一層の仲間づくりができる遊びを増やしていく。</p> <p>t 諸団体活補助は平成 26 年度で終了したが、人権の醸成に必要な研修参加等の支部活動への支援は引き続き行っていく。</p> <p>u 2 地区で行っており、催しの日を別々とし、2 会場がにぎわうように案内をしていく。</p> <p>v 引き続き中学校の視察研修など、合同で実施できる事業は合同で実施していく。</p>
--	--

目指すところ	(2) 子育て・親育ちの家庭教育の充実	
施策の 自己評価	a 家庭教育講演会の開催	B
	b 企画課と連携した「ゆりはま家族の日」(11月の第3金曜日)において、ノーメディアデーの実施	B
	c 町版「家庭学習の手引」の普及・啓発	B
	d 小・中学校が連携して取り組むための方策を検討する研究主任会の開催	A
	e 全国学力・学習状況調査の分析及び改善策の策定	B
	f 町版「家庭学習の手引」の活用推進	B
	g 湯梨浜町子育て・親育ち6か条の普及・啓発・浸透	B
	h 各小学校が実施するノーメディアデーと併せた6か条実施チェックデーの実施	B
	i 計画訪問や要請訪問による保育所・幼稚園への指導助言	A
	j 小・中学生との保護者を対象としたスマートフォン利用についての学習会の開催	C
	k 駅周辺の放置自転車一掃活動の実施	B
H26 成果 及び取組状況	<p>a 食育・教育講演会として6月に開催。小中はPTA研修会に位置づけて参加を呼びかけ、幼保からも保護者の参加があった。</p> <p>b 企画課と連携した「ゆりはま家族の日」の実施。企画課と共催し実施できた。各学校に標語作品の募集を行った。</p> <p>c 「家庭学習の手引き」を作成し、全児童生徒及び保護者へ4月に配布した。家庭教育力の向上を図り、具体的取り組み事項も記載した。</p> <p>d 全国学力・学習状況調査の結果を受けて、家庭での過ごし方について研究主任者会で話し合うことができた。</p> <p>e 8月に各校及び教育委員会事務局での分析を行い、今後の取り組みについて校長会・研究主任者会等で協議を行った。</p> <p>f 各校代表者による「家庭学習の手引き改訂委員会」を3回開催し、効果ある活用法について協議を行った。</p> <p>g 小学校PTA総会、保育所・こども園保護者研修会、5歳児健診で、教育総務課指導主事と生涯学習・人権推進課主事が「子育て親育ち6か条」の普及啓発を行った。</p> <p>h 各校で行っている児童生徒への生活アンケートについて、6か条の項目(全部又は一部)を取り入れて実施した。</p> <p>i 全9園への計画訪問、4園(延べ10回)の要請訪問を実施できた。</p> <p>J 青少年育成町民研修会 10月31日開催</p>	

	<p>講師 西上洋治さん 参加者 20 名</p> <p>k 松崎駅周辺環境浄化活動 11 月実施 環境補導部会長と協議を行い警察、駐在所へ放置自転車撤去の呼びかけをおこなった。</p>
H 26 課題	<p>a 保護者の参加を増やす取り組みの工夫が必要である。</p> <p>b 「ゆりはま家族の日」をノーメディアデーと位置づけ、各家庭での実践を促す工夫が必要である。</p> <p>c 特になし。</p> <p>d 各校で取り組んでいる家庭教育の取り組みについて、さらに広げていく必要がある。</p> <p>e 保護者への公表時期が各校そろわず、差ができてしまった。</p> <p>f 年間通した活用となっていない実態がある。</p> <p>g 「子育て親育ち6か条」について、どのくらい実施できているか町全体として調査ができていない。</p> <p>h 各校で回数や内容に差がある。</p> <p>i 特になし。</p> <p>j 町民研修会の参加者が減少している。参加者が増加するような講演内容や、講師の人選が必要。</p> <p>k 放置自転車数減になるような具体的取り組みが必要。</p>
H27 対応方針	<p>a 健康推進課と連携して、講演の意義等を伝え参加者増加を図る。</p> <p>b 企画課と協議し、「ゆりはま家族の日」をノーメディアデーと位置づけ、町一体とした取り組みとなるよう、各機関を通じて周知を行う。</p> <p>c 毎年見直しを行っていく。</p> <p>d 研究主任者会において、家庭教育についても協議を行い、町全体の取り組みとして進めていく。</p> <p>e 9月に分析して取り組み案を作成する。10月に各校保護者へ結果を公表をする。</p> <p>f 教職員が意識して日頃から活用できるよう、活用事例等を研究主任者会を通して提示していく。</p> <p>g 町全体での調査を行い、どの項目に課題があるのか把握し、重点的に対策を考えていく。</p> <p>h 各校の取り組みについて情報交換する機会を設け、共通して取り組む方法を模索する。</p> <p>i 継続して実施する。</p> <p>j 町民研修会について、参加者増となるような適切な開催日、講演内容、講師の人選について研修部会内で検討したい。</p> <p>k 青少年育成環境補導活動に努める。</p>

目指すところ	(3) 子どもと関わりをもつ地域の仕組みづくり	
施策の 自己評価	a 親子で生の優れた芸術文化や体験活動等を通して、地域とのふれあいを図るための親子・地域力推進事業の実施 ・人形劇等公演 ・放課後子ども教室推進事業	A
	b 公民館サークル活動及び各地域で活動される文化団体の育成	A
H26 成果 及び取組状況	a ・人形劇公演 10月26日実施(委託契約) 参加者67人 ・放課後子ども教室開催 東郷3箇所、泊1箇所、羽合2箇所 計6箇所にて実施 延べ回数189回、延べ児童参加者数2,071人 b ・発表の場の提供 芸能大会・住民作品展・ロビー展・とまり公民館まつり	
H26 課題	a 放課後子ども教室の6教室の開催状況は、週2回(1教室、週1回(2教室)月1回(3教室)であるので、月1回開催している教室について今後検討する必要がある。 b 文化団体の人数の減少や高齢化が進んでいる。	
H27 対応方針	a 放課後子ども教室の指導者の確保について検討する。 b 各団体が中心となって講座や教室を開催し、新たな会員を確保する。	

2. ワンランクアップの「知」「徳」「体」の調和のとれた学校教育の推進

目指すところ	(1) 進路が保障される学力の定着	
施策の 自己評価	a 全国学力・学習状況調査、標準学力検査の実施と活用	B
	b 放課後学習・サマースクール事業の実施	B
	c 各校での学力向上に向けた取り組みの実施	A
	d 町立全小・中学校における「土曜授業」の3回実施	A
	e 授業改善、授業づくりに関する研修会の実施	A
	f 県の事業と連携した校内授業研究会の開催	A
	g 研究主任等による学力向上推進のための町教研の担当者会の開催	B
	h エキスパート教員による示範授業と指導助言	A
	i エキスパートステップアップ事業を活用した小中接続の観点からの教科指導における単元づくり	B
	j 要請訪問の実施	B
	k 中学校区でのノーテレビ、ノーメディアデーの実施	B
	l 「湯梨浜町子育て親育ち6か条」の普及・啓発・浸透	B
	m Hyper-QU 検査(学級生活満足度調査)の実施と結果の活用支援	A
	n キャリア教育・職場体験学習の実施	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 全国学力・学習状況調査では、中学校数学Aが全国平均を1ポイント下回った他は、すべて平均以上であった。CRT 学力検査(中学校12月実施)平均全国比102、NRT 学力検査(小学校1月実施)平均偏差値54という良好な結果であった。</p> <p>b 全小中学校において、計画通り実施した。</p> <p>c 授業改善を目指した講師招聘授業研究会、放課後学習等の個別指導を計画通り実施した。</p> <p>d 年度内において、3回実施済。(9/27、11/15、1/17)</p> <p>e 「発達障がい理解推進拠点事業」の中で、ユニバーサルデザインの授業づくり等の研修会を実施した。</p> <p>f 「小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業」「発達障がい理解推進拠点事業」の中で、授業研究会及び研修会を実施した。</p> <p>g 計画通り年3回の実施(5/27、11/5、3/12)</p> <p>h 町内3名のエキスパート教員による師範授業を計画通り実施。(6/26、12/9、1/30)</p>	

	<p>i 計画した内容の70%以上ができた。次年度までの2年計画であり、引き続き事業実施を行っていく。</p> <p>j 6名の教諭・講師への要請訪問を延べ12回実施。継続して指導することにより、授業力及び指導力の向上が見られた。</p> <p>k 各地域で実施した。</p> <p>l 小学校PTA総会、保育所・こども園保護者研修会、5歳児健診で、教育総務課指導主事と生涯学習・人権推進課主事が「子育て親育ち6か条」の普及啓発を行った。</p> <p>m 各校で校内研修を行い、結果分析と具体の支援策の検討をした。</p> <p>n 両中学校で職場体験学習を中心に3年間の進路指導を進めた。</p>
H 26 課題	<p>a 町全体の結果は良かったが、全国比で平均を下回る学年もあった。</p> <p>b 中学校での指導者確保に苦勞した。</p> <p>c 特になし。</p> <p>d 国の方向性が明確に示されない状況での実施である。実施にあたり、学校（教職員等）の理解を得ていく努力を続ける必要がある。</p> <p>e 小中連携を意識した授業研究会及び研修会を進める必要がある。</p> <p>f 他校研究会への参加をさらに図る必要がある。</p> <p>g 各校の取り組み報告だけでなく、町として目指す教育についての議論が必要である。</p> <p>h 参加者が少なかった。</p> <p>i 国語科の授業は午前に偏る傾向にある。時間割編成段階で各校に配慮をお願いし、エキスパート教員が実践しやすい環境を探る必要がある。</p> <p>j 県が行う研修及び各校での研修がすでに行われており、全講師対象とはならなかった。</p> <p>k 北溟中学校区については、日程の統一ができず各校それぞれの取り組みとなった。</p> <p>l 「子育て親育ち6か条」について、どのくらい実施できているか町全体として調査ができていない。</p> <p>m 校内研修の充実を図る必要がある。特に具体の支援策を出し合う点に重点を置くことが大切である。</p> <p>n 系統的な計画に基づく体験学習の実施を継続支援する必要がある。</p>

<p>H27 対応方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> a 学校間・学年間の差がなくなるよう、町全体として学力向上を進めていく。 b 小学校のみでの実施とする。中学校は、全日6時間授業及び休憩時間の補習等で、個別指導を行う。 c 各校の取り組みについて、今年度も研究主任者会等で情報交換を行っていく。 d 各校を訪問するかたちで個別に説明及び意見交換会を開催し、学校職員等の方の理解を得て実施する。 e 県の事業において、小中連携授業研究会（10月・羽合小）及び研修会（7月）を実施する。 f 各校授業研究会に、一定割合の他校教員が参加できる体制を作る。 g 研究主任者会では、湯梨浜町教育要覧の重点項目についてテーマを設定し協議を行う。 h 町内教職員への周知を行う。 i 校長会（2月）にできる限りの依頼済。引き続き実施に係る要望等の把握と支援に努める。 j 各校の要望に応える形で、若手教職員の授業力及び指導力向上を目指した取り組みを行う。 k 両中学校区とも、こども園から中学校まで同じ時期に取り組む。 l 町全体での調査を行い、どの項目に課題があるのか把握し、重点的に対策を考えていきたい。 m 授業参観や学校訪問の機会を通じ、研修の成果がどう反映した実践となっているか聞き取り、状況把握を行う。 n 前年度の教育反省に基づき、計画が作成されているか把握する。
-----------------	--

目指すところ	(2) 美に感動する心と行動化への意欲づけ	
施策の 自己評価	a 「道徳の時間」の計画訪問時における公開の推進	B
	b 拡大連絡会、人権教育主任者会による人権教育担当者の連携の充実、指導計画改善	B
	c Hyper-QU 検査の結果分析の組織的な活用	A
	d 「総合的な学習の時間」年間指導計画の把握・指導	B
	e 「特色ある学校づくり推進事業補助金」による取組の推進	A
	f アロハフレンドシップ、ハワイアンフェスティバルの際の交流活動の推進	A
	g 保育所、幼稚園、小・中学校におけるALTの活用	A
	h 学校訪問の定期的な実施	A
	i 長期休業明けに不登校対策委員会の開催	A
	j 地域・関係機関との連携による保護者支援	B
	k 各校における「いじめ防止対策基本方針」の作成及び運用状況の把握	A
	l 湯梨浜町いじめ問題調査委員会及び検証委員会設置のための条例整備	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 小中学校計画訪問では、延べ9回の道徳授業公開を実施。</p> <p>b 年2回の主任者会の開催とともに指導法の改善等担当者が集って検討を行った。</p> <p>c 各校で検査結果の活用と具体の支援策を出し合うための校内研修を行った。</p> <p>d ほぼ計画どおりの実施ができ、指導助言も行った。</p> <p>e 各校とも当初計画あいていた事業が実施できた。</p> <p>f 関係課と連携し各中学校での交流場면을企画し、交流していただくことができた。</p> <p>g 両中学校ALTともに意欲的に参画できた。</p> <p>h 計画どおりの時期に年5回の実施を行った。</p> <p>i 計画どおりの時期に年3回の実施を行った。</p> <p>j 役割を果たし、改善につなぐ事例もあったが、そうできないものもあった。</p> <p>k 全校における作成、運用に基づく対応ができている。</p> <p>l 整備、公表ともに行った。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし</p> <p>b 検討した内容が、指導の成果として児童生徒の姿の変化となっ</p>	

	<p>て表出していない。</p> <p>c 毎年実施し、子どもの集団の質の状態を見とる力量をアップさせる必要がある。</p> <p>d 総合的な学習の時間について毎年同じ活動が行われていることが多く、内容についての検討が必要である。</p> <p>e 各校の取り組んでいる事業内容が、本来補助金の目的としている。独自に取り組む特色ある学校づくりに資しているのか、各校で改めて検証する必要がある。</p> <p>f 特になし</p> <p>g 小学校教職員との連絡調整役となる中学校英語科教員との連携が密になるよう、ALTが勤務しやすい環境整備を行う。</p> <p>h 不登校の未然防止に対する危機感の共有と深化、初動対応の重要性の共有を図る必要がある。</p> <p>i 不登校の現状から喫緊の課題を焦点化する。</p> <p>j 一時期改善の兆候が見られた事例であっても思うように改善に結びつかない事例もある。</p> <p>k 特になし</p> <p>l 特になし</p>
H27 対応方針	<p>a 計画訪問時の道徳授業公開について、引き続き周知を行う。</p> <p>b 児童生徒の実態に沿った指導内容のあり方を丁寧に検証していく。指導の評価軸を何とするか検討を行っていく。</p> <p>c どの段階でどこまで集団の質を高めるかの議論を促す。</p> <p>d 各学校の特性を生かした総合的な学習の時間が展開されるように指導助言を行っていく。</p> <p>e 各校の取組みがこれまで以上に独自性を強め、前例踏襲でなく新たなものとなるよう、また取組みの進捗状況や成果を年度途中で検証する。</p> <p>f 今後も関係各課との連携を深め運営に協力する。</p> <p>g 小学校教員の指導力向上に資する活用を促す。</p> <p>h 意図ある学校訪問を計画的に実施し、未然防止の危機感の共有と深化、初動対応の重要性を浸透させる。</p> <p>i 不登校の現状から喫緊の課題を焦点化し、更なる改善につなぐ。</p> <p>j 学校（教職員）が抱え込まない支援を継続して行う。</p> <p>k 引き続き、適切な運用についての状況把握をする。</p> <p>l 該当事案が発生した場合は速やかに事務手続きを行う。</p>

目指すところ	(3) スポーツの習慣化	
施策の 自己評価	a スポーツ少年団常任委員会の参加	A
	b 部活動の大会等の参観	B
	c 各園の実態に合わせた運動遊びの実施と保護者啓発	A
	d 新体力テストの結果分析と改善策の検討	B
	e 運動部活動推進事業の活用	A
	f 食育・教育講演会の開催	B
H26 成果 及び取組状況	<p>a 年2回の常任委員会に参加し、指導助言を行った。</p> <p>b 年2回の参観を試みたが、他の会への出席が重なり6月のみの参観となってしまった。</p> <p>c 各幼稚園・保育所では、年齢に合わせてリズム運動を中心とした運動遊びが計画的に行われている。5歳児健診において、幼児期運動指針の啓発を行った。</p> <p>d H25年及びH26年の結果分析を行い、校長会において報告と取り組みへの指示を行った。</p> <p>e 申請済の全部活動で6月以上の実績があった。</p> <p>f 食育・教育講演会として6月に開催。小中はPTA研修会に位置づけて参加を呼びかけ、幼保からも保護者の参加があった。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし</p> <p>b 他の会への出席等が重なり、参観できない場合もある。</p> <p>c 特になし</p> <p>d 小学校での体力向上が課題である。特に「ボール投げ」「長座体前屈」は、ほぼ全学年で平均を下回っている。</p> <p>e 顧問と外部指導者の連携のあり様を細やかに把握しておく必要がある。</p> <p>f 保護者の参加を増やす取り組みの工夫が必要である。</p>	
H27 対応方針	<p>a 今年度も常任委員会に参加し、指導助言を行う。</p> <p>b 引き続き年2回の参観を目指す。万一出来ない状況が生じた場合は、各中学校に情報提供を求める等迅速な状況把握を行う。</p> <p>c こども園で行われている運動遊びが小学校での体育学習につながるように、移行カリキュラムを編成する。</p> <p>d 小中各校体力的課題に対する取り組み案を作成し、実施状況について把握する。取り組みについて情報共有し、町全体としての体力向上を図る。</p> <p>e 実態把握と必要な支援を適宜行う。</p> <p>f 健康推進課と連携して、講演の意義等を伝え参加者増加を図る。</p>	

目指すところ	(4) 幼保一体の幼児教育の推進	
施策の 自己評価	a 職員研修会の開催 (子育て支援課共催)	A
	b 所長・園長会での研究協議	B
	c 訪問指導を実施	A
	d 湯梨浜町子育て・親育ち6か条の普及・啓発・浸透	B
	e 各園で子育て講演会の実施	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 職員研修会では、「幼保小連携カリキュラム」活用について、中部教育局指導主事から指導を受けた。保育教育につながる実践的な内容であった。第2回は雪のため中止。</p> <p>b 保幼小連携及び就学に向けての話題を提供できた。</p> <p>c 4園(延べ10回)の要請訪問を実施できた。</p> <p>d 小学校PTA総会、保育所・こども園保護者研修会、5歳児健診で、教育総務課指導主事と生涯学習・人権推進課主事が「子育て親育ち6か条」の普及啓発を行った。</p> <p>e 子育て講演会の内容は、「子育て親育ち6か条」に関わるものが多く、関連を持たせて普及活動も行った。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし</p> <p>b 小学校教育の状況について、継続的に伝えていく必要がある。</p> <p>c 保育士は、時間の関係で保育参観を通しての研修が難しい。さらなる訪問指導の機会を充実させる必要がある。</p> <p>d 「子育て親育ち6か条」について、どのくらい実施できているか町全体として調査ができていない。</p> <p>e 特になし</p>	
H27 対応方針	<p>a 今年度も実施を行う。</p> <p>b 各月のテーマを設け、小学校教育について情報提示を行い、保幼小連携を目指す。</p> <p>c 県要請訪問に随行したり、園の要望に応える形で指導助言を行ったりしていく。</p> <p>d 町全体での調査を行い、どの項目に課題があるのか把握し、重点的に対策を考えていきたい。</p> <p>e 園からの要望により、家庭教育の充実を目指した講演を行う。</p>	

目指すところ	(5) 特別支援教育の充実	
施策の 自己評価	a 授業研究会の開催・ケース支援会議への参加	B
	b 支援のあり方についての校内研修会の支援	B
	c 事業を活用しての理解推進の取り組みの実施	A
	d 保護者のニーズを反映した校内就学指導委員会や個別の支援会議への参加	A
	e 進学する予定の学校見学や体験入学の実施	A
	f 教職員の連絡会や交流会などの体制づくり	B
	g 進路を見据えた教育課程、教育計画作成の支援	A
	h 進学する予定の学校見学や職場見学の支援	A
	i 保護者への情報提供	A
H 26 成果 及び取組状況	<p>a 各校で特別支援教育授業研究会を実施。就学指導及び支援についてのケース支援会議に参加した。</p> <p>b 研修会資料の提示や書類整備を行った。</p> <p>c 「発達障がい理解推進拠点事業」では北溟中学校が拠点校となり、教職員研修・保護者研修・先進校視察等を計画通り行った。</p> <p>d 複数回の支援会議実施により、進路や就学先等について時間をかけて協議することができた。</p> <p>e 町内小・中学校、特別支援学校、琴の浦高等特別支援学校への体験入学を実施した。</p> <p>f 町特別支援教育主任（コーディネーター）連絡会を1回実施。</p> <p>g 一人一人の進路保障を見越して、教育課程編成がおこなわれている。</p> <p>h 小中学校への学校見学・体験入学においては、日程調整を行い、希望者については全員実施することができた。</p> <p>i 支援会議の中で、子育て支援課とともに就学先等の情報提供を行った。</p>	
H 26 課題	<p>a 町全体としての授業研究会ができていない。</p> <p>b 各校で作成している個別の指導計画等の書類様式が統一されていない。</p> <p>c 町全体の取り組みとなる工夫が必要である。</p> <p>d 特になし</p> <p>e 特になし</p> <p>f 特別支援教育の体制や取り組みについて、町としてさらに統一していく必要がある。</p> <p>g 特になし</p>	

	<p>h 特になし</p> <p>i 適正就学について時間をかけて協議を進める必要がある。</p>
H27 対応方針	<p>a 「発達障がい理解推進拠点事業」において、11月に北溟中学校で授業研究会を行う。</p> <p>b 年度当初を含め数回の特別支援教育主任連絡会を持ち、LD等専門員を招いて、特別支援教育の共通した体制作りを行う。</p> <p>c 授業研究会及び教職員研修について、町内教職員への参加を呼び掛ける。</p> <p>d 今年度も継続実施。</p> <p>e 今年度も継続実施。</p> <p>f 複数回の実施を行う。</p> <p>g 教育課程編成にあたり、指導助言を行う。</p> <p>h 今年度も継続実施。</p> <p>i 適正就学については、進学先の支援の状況等をより詳しく伝え、外部機関の協力も得ながら時間をかけて協議を行う。</p>

3. 学校を支える教育環境の整備

目指すところ	(1) 中学校統合の推進	
施策の 自己評価	用地取得、基本設計等に着手する	A
H 26 成果 及び取組状況	<p>新中学校及び学校給食センターの最終的な建設位置を決定後、用地関係者の合意、議会議決、農振除外、農地転用許可を得、用地取得を行った。</p> <p>さらに基本設計と実施設計を合わせて発注し着手した。</p>	
H 26 課題	開校年度について合併特例債期間としていたが、具体的な開校年度の設定が必要。	
H27 対応方針	<p>具体的な設計の進捗を図ると共に開校年度を決定する。</p> <p>造成工事等中学校建設について地域関係者の理解を促進する。</p> <p>開校準備委員会を発足させ、通学路・学校経営等協議し、保護者、学校、地域と一体となった学校づくりを行う。</p>	

目指すところ	(2) 15年一貫教育の創造	
施策の 自己評価	a 幼児と児童の交流活動の推進とカリキュラムの共有化、指導者相互の交流	B
	b 県の事業と連携した校内授業研究会と小中連携の充実	C
	c 指導主事要請訪問での指導助言の実施	B
	d 保幼小・小中それぞれの教職員同士の訪問、参観	A
	e 子ども同士の交流の場の設定	A
	f Hyper-QU 検査等の活用による具体的手だてを検討する研修の支援	A
	g 児童生徒理解のためのアンケートや教育相談活動の実施の把握	A
	h 食育教育講演会（湯梨浜町・湯梨浜町教育委員会・湯梨浜町PTA連合会主催）の開催	B
	i 各機関での子育て講演会の実施	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 小学生の幼稚園訪問と、保育所・幼稚園児の全小学校への体験入学を行い、園児と児童の交流を行った。6月の幼保小連絡協議会、夏休みの保育参観を全小学校区で実施。</p> <p>b 研究主任を通じて、他校授業研究会への参加依頼を行った。</p> <p>c 6名の教諭・講師への要請訪問を延べ12回実施。継続して指導することにより、授業力及び指導力の向上が見られた。</p> <p>d 保幼小連絡協議会、保育参観、体験入学等において、保育参観及び授業参観を行った。</p> <p>e 小学生の幼稚園訪問と、保育所・幼稚園児の小学校への体験入学を行い、園児と児童の交流を行った。中学校への体験入学を2月に実施した。</p> <p>f 各校が具体的手だてを検討する研修会を年2回実施した。</p> <p>g 各学校が児童生徒理解のための定期的なアンケートと教育相談活動を行った。</p> <p>h 食育教育講演会を6月18日に実施し、203名の参加。</p> <p>i こども園・保育所（6園）において、「ほめること・しかること」を中心とした子育てについて講演を行った。</p>	
H26 課題	<p>a 保育参観の時間が短く、保育の実態が伝わらなかった。保育体験を取り入れる等の工夫が必要である。</p> <p>b 全教職員の他校授業研究会への参加ができなかった。特に担任は日程調整が難しく、自習等を組むことができなかった。学校全体での早めの計画が必要である。</p>	

	<p>c 県が行う研修及び各校での研修がすでに行われており、全講師対象とはならなかった。</p> <p>d 特になし</p> <p>e 特になし</p> <p>f 毎年実施し、子どもの集団の質の状態を見とる力量をアップさせる必要がある。</p> <p>g 引き続き「いじめ対策基本方針」に基づく適切な運用を図る必要がある。</p> <p>h 各機関を通じて、さらに参加を呼び掛ける必要がある。</p> <p>i 特になし</p>
H27 対応方針	<p>a 町教委が主導し、夏季休業中のこども園への保育体験を計画する。長期社会体験研修者とともに、保幼小連携カリキュラム作りを行う。</p> <p>b 北溟中学校（発達障がい理解推進事業）、羽合小学校（小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業）それぞれで小中合同授業研究会を行う。午後の日程で全教職員が参加できるように計画をする。</p> <p>c 各校の要望に応える形で、若手教職員の授業力及び指導力向上を目指した取り組みを行う。</p> <p>d 今年度も継続実施。</p> <p>e 今年度も継続実施。</p> <p>f どの段階でどこまで集団の質を高めるかの議論を促す。</p> <p>g 継続実施を促す。</p> <p>h 校長会等を通じて、参加呼びかけを行う。</p> <p>i こども園からの要望に応じたテーマについて、継続実施を行う。</p>

目指すところ	(3) 学校支援ボランティアの拡大と定着	
施策の 自己評価	a 学校支援コーディネーター連絡協議会の開催	A
	b ボランティア活動補助金の有効活用の推進	A
	c ボランティア登録の運営・推進	A
H26 成果 及び取組状況	a 年2回開催し、コーディネーターと教頭との意思疎通を図った。 b 一段と自校の実態に合う補助金の活用となってきた。 c 登録者数は最終的に149名となり昨年を17名も上回った。増額した予算上限に近い状況である。	
H26 課題	a 各校のニーズに合う人材確保の有効策と環境整備の在り方について研究を続ける必要がある。 b 今後の活動のために必要なものを吟味し、充てていくよう促す。 c 学校規模間によるボランティア活動の運営に困難が生じないための体制整備が必要である。	
H27 対応方針	a 5～6月、1～2月頃に開催し、更に意思疎通を図る。 b 連絡協議会の機会を利用し、各校教頭に周知徹底を図る。 c 各校の登録者情報を取りまとめ、必要に応じて町教委から情報提供できるシステムづくりに着手する。	

4. 町民1人1スポーツの推進

目指すところ	(1) 生涯スポーツの全国への発信	
施策の 自己評価	a 第26回グラウンド・ゴルフ発祥地大会の開催	A
	b 世代間交流グラウンド・ゴルフ大会(予選大会)への参加	A
	c ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会への参加	A
	d 第36回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会の開催	B
	e 合併10周年記念グラウンド・ゴルフ国際交流大会の開催	B
H26 成果 及び取組状況	<p>a 6月14日、15日に開催。都府県、321チームの応募をいただき、抽選により192チーム、768名(定数)の参加をいただき開催した。</p> <p>b 町内の小学生およびスポーツ少年団など小学生の活動するスポーツ団体へ参加の呼びかけを行い、全参加者291名(子ども112名大人179名)のうち町内から小学生25名、大人11名参加した。(事業主体:県GG協会)</p> <p>c 町内の小学生およびスポーツ少年団など小学生の活動するスポーツ団体へ参加の呼びかけを行い、全参加者107名中、県内から58名参加した。(事業主体:企画課)</p> <p>d 9月6・7日に開催。14都府県、332名(団体59チーム、個人戦208名)の参加をいただき開催。また、大会初めての招待選手として奈良県より全日本優勝経験者を含む3名の60、70代現役選手を招き開催しました。 審判長の後任に上級審判員資格を持った倉吉市在住の松本秀樹氏に引き受けていただき、参加者全員が1日を通して大会を楽しんでいただけるように競技方法の改定を行い、近年下降傾向になっていた参加者も本年は60名の参加者増となった。</p> <p>e 11月3日に開催。15か国60名の参加申し込みいただいた。当日は、雨天であったが55名の参加をいただき開催した。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし</p> <p>b 特になし</p> <p>c 特になし</p> <p>d 競技方法の改定により試合数が増え近年なかった2会場を使つての開催となったが、町内に大会として使用できる卓球台が数少なく、本年はあるもので実施したが参加者からは不満の声もあり、卓球台の確保が必要。</p> <p>e 初めての大会開催であり、参加者増のさらなる取組が必要。</p>	

H27 対応方針	<ul style="list-style-type: none"> a 継続して開催していく。 b 継続して参加の呼び掛けに取り組む。 c 継続して参加の呼び掛けに取り組む d 競技方法の改定は参加者より好評であったので継続して実施。 また、大会の魅力作りとして招待選手の招致にも取り組み、より多くの参加者増を目指す。 e 継続して参加を呼びかけより多くの参加者増を目指す。
----------	---

目指すところ	(2) 競技スポーツの推進と団体育成	
施策の 自己評価	a 町民競技大会の開催や町内の年間成績優秀者への功労者表彰を実施する町体育協会への支援	A
	b 町スポーツ少年団の育成支援	A
	c 必要に応じた体育施設の維持管理・改修の実施	A
	d 利用調整会の必要に応じた開催	A
	e 下記大会の継続実施 (町民競技大会) ・町軟式野球ナイターリーグ大会 ・町民ソフトボール大会 ・町駅伝競走大会 ・町民グラウンド・ゴルフ大会 ・町民ゲートボール大会 ・町民バレーボール大会 ・新春みんなでかけろう会 ・町民バスケットボール大会 ・町民卓球大会 ・町民バドミントン大会 (その他大会) ・グラウンド・ゴルフ発祥地大会 ・グラウンド・ゴルフ国際交流大会 ・ホワイトライアスロン in 湯梨浜 ・東郷湖ドラゴンカヌー大会 ・全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会 ・東伯郡民体育大会 ・中部地区駅伝競走大会 ・県民スポ・レク祭 夏季・秋季・冬季大会	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 各種町民大会を計画通り実施し、2月22日には年間の成績優秀者を対象に体育協会の功労者表彰を行った。</p> <p>b 施設使用料の免除、団活動への補助金交付等を行い活動しやすい環境整備を継続して図った。</p> <p>c 定期的な維持管理(清掃業務等)を行い、必要に応じた施設・器具などの修繕を行い環境整備を図った。</p> <p>d 例年定期的に活動している団体が多く新規に活動する団体もなく大きな変動がなかったため、H26は利用者への聞き取りにより調整を図った。</p>	

	<p>e 計画通りに実施。(町民競技大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町軟式野球ナイターリーグ大会 5月7日開幕～9月26日(毎週水・金実施)8チーム参加 ・町民ソフトボール大会 5月18日開催 21チーム参加 ・町駅伝競走大会 11月16日開催 36チーム ・町民グラウンド・ゴルフ大会 11月2日開催 219名参加 ・町民ゲートボール大会 11月9日開催 5チーム ・町民バレーボール大会 12月14日開催 22チーム ・新春みんなでかけろう会 1月3日開催 積雪による天候不良のため羽合小学校体育館 を利用し軽スポーツ教室を実施。参加者14名 ・町民バスケットボール大会 1月25日開催 17チーム ・町民卓球大会 3月1日開催 25チーム ・町民バドミントン 3月15日開催 27チーム 個人選5組 <p>(その他大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド・ゴルフ発祥地大会 6月14・15日開催 23府県192チーム768名参加 ・グラウンド・ゴルフ国際交流大会 11月3日開催 15か国55名参加 ・ホワイトライアスロン in 湯梨浜 6月22日開催(トライアスロン実行委員会主催) ・東郷湖ドラゴンカヌー大会 8月10日開催予定でしたが台風のため中止 ・第36回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会 9月6・7日開催 14都府県 332名参加 ・東伯郡体育大会 7月12日～20日 約1,000人参加 ・中部地区駅伝競走大会 9月14日開催 2チーム ・県民スポ・レク祭 夏季・秋季・冬季大会 約300名参加
--	--

H 26 課 題	・特になし。
H27 対応方針	・継続開催。

目指すところ	(3) 生涯スポーツの普及と発展	
施策の 自己評価	a スポーツ推進委員による訪問型スポーツ指導の実施	A
	b スポーツ指導資格者の育成	A
	c 町広報紙を利用した軽スポーツの紹介を実施	A
	d 定期的な軽スポーツ教室の実施	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 公民館や各種団体活動へのスポーツ指導に5回実施。また、町イベントなどの運営協力に7回実施。</p> <p>b ノルディックウォーキング公認指導員、パットゲームスター公認指導員など生涯スポーツに関係した資格を取得することによりスポーツ推進委員としての資質向上に努めている。</p> <p>c 毎月一回行っている軽スポーツ教室の案内に合わせ年2回スポーツ推進委員活動および軽スポーツ紹介を町報に掲載実施。</p> <p>d スポーツ推進委員が主導し、毎月1回バウンズボール教室をはいトレーニングセンターを利用し開催。 また、9月より「スポーツ推進委員と歩こう会」と称しウォーキング教室を新たに2ヶ月に一回実施し、生涯スポーツと健康づくりに取り組んだ。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし。</p> <p>b 特になし。</p> <p>c 特になし。</p> <p>d 定期的に行っているバウンズボール教室について、参加者が低迷しているため工夫が必要。</p>	
H27 対応方針	<p>a 継続実施。</p> <p>b 継続実施。</p> <p>c 継続実施。</p> <p>d 2年間の委員任期を終え新たな体制となるので、新役員により開催日、場所、内容など再度検討を行い少しでも多くの参加者が集まる工夫に取り組む。</p>	

5. 歴史的文化遺産の活用と新たな文化の創造

目指すところ	(1) 文化財解説ボランティアガイドの育成	
施策の 自己評価	a 文化財見学会事業による史跡・博物館等での現地研修実施	A
	b 地域の歴史を再認識するための「ふるさと再発見事業」の活用	A
	c 町ボランティアガイド養成講座に協力	A
	d 生涯学習として文化財に限った専門員の配置・充実を図り、解説員のリストを作成	C
	e 史跡の草刈り、尾崎家住宅及び名勝庭園の保存・修理並びに一般公開を実施	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 倉吉博物館開館 40 周年特別展「大伯耆国展」(国宝一ノ宮経筒展示) 見学及び講演会参加 (5 月 24 日 : 19 名参加)</p> <p>b 町内史跡見学及びふるさと再発見湯梨浜学講座 (6 月 20 日 : 25 名参加、7 月 23 日 : 47 名参加、) 尾崎家に関係した講演会 (6 月 28 日 : 63 名参加) / 橋津歴史塾ミニ講演会 (毎月最終土曜日開催) / 松崎を訪ねる (9 月 28 日 : 13 名参加) 歴史講演会 (10 月 26 日 : 40 名参加)</p> <p>c 研修会及び講演会への参加を依頼。</p> <p>d 文化財保護委員会を中心に専門的な説明等について対応している。リストの作成は実施していない。</p> <p>e 史跡等の草刈り業務をシルバー人材センターに委託し実施 / 名勝尾崎氏庭園の保存修理事業実施 / 尾崎家住宅及び尾崎氏庭園の一般公開実施 (6 月 28 日 : 353 名参加)。</p>	
H26 課題	a ~ e 特になし。	
H27 対応方針	a ~ e 継続実施。	

目指すところ	(2) 文化活動のサークル育成	
施策の 自己評価	a 公民館活動を充実した運営を行うため意見等を求める公民館運営委員会の開催	B
	b 3館で公民館職員と地域活性化推進員による会議を開催し円滑な推進事業を図る	A
	c 事業精査により公民館事業の適正執行を図り、地域活性化推進員と連携強化のもと各種講座、教室の充実	A
	d 研修会による職員及び地域活性化推進員の資質の向上を図る	B
	e 自発的に趣味や技芸を習得し、交流と親睦を図るため湯梨浜町文化団体協議会加盟団体の連携強化、交流を通じた情報発信の強化	A
	f 町内サークル等の学習成果の発表機会を提供し、更なる活動の充実と交流促進、底辺の拡大 ・住民作品展 ・湯梨浜芸能大会 ・ロビー展	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 公民館運営委員会を開催し、各館の事業について意見を求めた。【中央公民館】 5月、12月開催</p> <p>b 3館で地域活性化推進員と公民館職員とによる推進会議を開催し事業の推進を行った。</p> <p>c 地域活性化推進員と公民館職員とで、事業精査を行い各種講座、教室の企画、実施、反省を行った。</p> <p>d 公民館職員研修会への参加。 ・中国四国地区公民館研究集会 9月参加者3名 ・県公民館研究集会 2月参加者3名 ・郡公連主事部会研修会 年2回参加者延べ29人</p> <p>e 町文化団体協議会関係 ・加盟団体数 58団体 ・町文化団体協議会加盟団体への活動支援金補助(8月) ・加盟団体交流事業(倉吉博物館鑑賞・陶芸体験10月、北栄町作品展・みささ美術館コンサート鑑賞1月) ・協議会だよりの発行(3月)</p> <p>f 住民作品展…10月29日～11月3日(羽合分館・アロハホール) 出展者399人 出展作品740点 湯梨浜芸能大会…11月16日(アロハホール) 出演団体34団体 出演者217人 ロビー展 中央公民館 9回開催 羽合分館 3回開催</p>	

	<p>泊分館 14回開催</p> <p>とまり公民館まつり…作品展（日本画グループ・写友会うしお・立体ちぎり絵・陶芸）、音楽発表（海響太鼓）、お茶席（茶道グループ）ロビー展…写友会うしお</p>
H 26 課 題	<p>a 公民館運営委員会がただ単に事業の承認する場となっ てしまい公民館活動を充実した運営を行うための意見等 を求める場とならなかった。</p> <p>b 特に問題なし。</p> <p>c 公民館全体事業の精査を実施。</p> <p>d 地域活性化推進員の公民館職員研修会への積極的な 参加。</p> <p>e 町文化団体協議会の自主、独立運営への移行。</p> <p>f 作品展や芸能大会の出展・出演者は充実しているが、 観客数の増へつなげる方策が必要。</p>
H27 対応方針	<p>a なし。</p> <p>b なし。</p> <p>c なし。</p> <p>d 郡公連の実施する研修会への積極的な参加。</p> <p>e 町内各種文化団体の交流の場の増設や積極的な情報 発信をするとともに、町文化団体協議会の活動強化と 自主、独立運営に向けて支援をする。</p> <p>f 積極的に情報発信、PRに努め観客数の増を図る。 各地域で独自に活動されているサークル、団体の情報 収集を行い交流促進、底辺の拡大に資する。</p>

6. 湯梨浜町教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

目指すところ	(1) 町民との協働による開かれた教育行政の推進	
施策の 自己評価	a 町ホームページや広報紙を活用した教育行政の紹介	A
	b 教育行政の点検及び評価の実施・公表	A
	c 教育委員会定例会、校長会等への適切な報告・提案	A
	d 教育要覧の作成と周知	A
H26 成果 及び取組状況	<p>a 町ホームページに掲載している。</p> <p>b 6月定例議会にも報告済。10月には中間評価も実施した。</p> <p>c 必要に応じ学校現場での出来事や懸案事項について報告した。</p> <p>d 6月に策定し、速やかに各関係機関に周知を図った。</p>	
H26 課題	<p>a 特になし。</p> <p>b 外部評価の仕組みを取り入れること。</p> <p>c 特になし。</p> <p>d 特になし。</p>	
H27 対応方針	<p>a 継続実施。</p> <p>b 外部評価制度を取り入れ、より公平公正な視点で点検及び評価を行うことができる環境を整える。</p> <p>c 懸案事項は時期を逸せず、タイムリーかつ定期的に報告する。</p> <p>d 5月中に配布を完了する。次年度分は、策定予定の新しい町教育振興基本計画に沿った内容とする。</p>	

目指すところ	(2) 関係機関・団体との連携・協力の推進	
施策の 自己評価	a 国・県事業の積極的な活用	A
	b 中部市町指導主事会の実施と連携充実	A
	c 各校の研究推進における大学教授等の講師招聘	A
H 26 成果 及び取組状況	<p>a 「発達障がい理解推進拠点事業」「小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業」「エキスパート教員ステップアップ事業」とも計画どおり実施できている。いずれの事業も2年計画のものであり、効果は平成27年度に総括する。</p> <p>b 主体的な提案を行う等、懸案事項について連携を図った。</p> <p>c 8回の講師招聘授業研究会を計画どおり実施できた。</p>	
H 26 課題	<p>a 引き続き各校の学力向上、不登校減少に向け具体的手だてを行う必要がある。</p> <p>b 特になし。</p> <p>c 評価の検証を行っていく必要がある。</p>	
H27 対応方針	<p>a H26年度と同様に事業を有効活用する。核となる教員への働きかけ、支援を継続実施する。事業を受けている校区の取り組みを町全体へと広げていく。</p> <p>b 継続実施し、一層の連携を深める。</p> <p>c 成果と課題を検証する。</p>	

教育委員会議及び教育委員の活動

湯梨浜町教育委員会委員

(H27. 4. 1 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	保護者
委員長	前田 三郎	H24. 12. 25	H28. 12. 24	
同職務代理者	熊坂かつ枝	H23. 12. 25	H27. 12. 24	
委員	小林 孝拓	H25. 12. 25	H29. 12. 25	○
委員	岩本 恭昌	H27. 1. 15	H31. 1. 14	
教育長	土海 孝治	H24. 12. 25	H28. 12. 24	

○委員の異動

平成26年12月24日に任期満了となった中川裕章委員の後任に、平成27年1月15日に岩本恭昌委員が任命されました。

教育委員会議・教育委員の活動実績等について

平成26年度につきましては、教育委員会議は毎月の定例会の中で教育委員会規則等の一部改正、要保護・準要保護児童生徒の認定、学校評議員などの委嘱のほか5月、9月及び3月に計4回の臨時会を開催しました。このうち臨時会では、湯梨浜町新中学校建設基本構想に基づき、適宜に中学校の建設に関する協議を実施しました。その結果、今年度は、長江地区に新中学校・学校給食センターの建設地を決定し、農振除外・農地転用・用地買収・基本設計・造成工事に着手しました。順調に開校に向け準備が進んでおります。

《1》 教育委員会議の平成26年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しております。

教育委員会の開催状況（平成26年4月～平成27年3月）

年月日	会議名	議案番号	議案件名等
26. 4. 24	第6回定例会	21	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会職員の異動）
		22	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町立小学校医及び中学校医の委嘱）
		23	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町立小中学校教務主任等の任命）

		24	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町地域活性化推進員の任命)
		25	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町社会教育委員の任命)
		26	平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告2件、協議事項2件、報告連絡事項4件、その他
26.5.9	第7回臨時会		協議事項1件、報告連絡事項1件、その他
26.5.24	第8回臨時会		協議事項1件、その他
26.5.28	第9回定例会	27	専決処分の承認を求めることについて(公民館運営委員会委員の委嘱)
		28	湯梨浜町いじめ問題調査委員会等設置条例の制定について
		29	湯梨浜町いじめ問題調査委員会設置規則の制定について
		30	湯梨浜町いじめ問題サポートチーム設置要綱の制定について
		31	湯梨浜町いじめ防止対策基本方針の策定について
		32	平成26年度湯梨浜町立学校評議員の委嘱について
		33	鳥取県中部地区教科用図書採択協議会の組織及び運営に関する会則の承認について
		34	平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報4件、協議事項3件、報告連絡事項8件、その他
26.6.24	第10回定例会	35	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町ふるさと陶芸館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)
		36	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)
		37	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度湯梨浜町一般会計補正予算(第2号))
		38	湯梨浜町ふるさと陶芸館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		39	湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		40	平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
26.7.23	第11回定例会	41	湯梨浜町学校給食運営委員会規則の一部を改正する規則について
		42	外国語指導助手の任命について
		43	平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
26.8.19	第12回定例会	44	平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択について

			教育長の報告 1 件、協議事項 2 件、報告連絡事項 6 件、その他
26. 9. 1	第 13 回臨時会		協議事項 3 件、その他
26. 9. 25	第 14 回定例会	45	専決処分の承認を求めることについて(平成 2 6 年度湯梨浜町一般会計補正予算(第 3 号))
		46	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町いじめ問題調査委員会による調査依頼に係る取り下げ)
		47	湯梨浜町公民館運営審議会委員の委嘱について
			教育長の報告 2 件、協議事項 1 件、報告連絡事項 5 件、その他
26. 10. 29	第 15 回定例会	48	湯梨浜町文化財保護委員の任命について
		49	平成 2 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告 2 件、協議事項 2 件、報告連絡事項 5 件、その他
26. 11. 25	第 16 回定例会	50	専決処分の承認を求めることについて(教育委員会事務局職員の異動)
		51	湯梨浜町立老人憩いの家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
		52	湯梨浜町社会体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
			教育長の報告 2 件、報告連絡事項 3 件、その他
26. 12. 25	第 17 回定例会	53	湯梨浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
		54	専決処分の承認を求めることについて(平成 2 6 年度湯梨浜町一般会計補正予算(第 6 号))
		55	湯梨浜町立老人憩いの家の管理及び運営に関する規則を廃止する規則について
		56	湯梨浜町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
		57	しおさいプラザとまり管理運営規則の一部を改正する規則について
		58	平成 2 6 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告 3 件、協議事項 2 件、報告連絡事項 9 件、その他
27. 1. 15	第 1 回定例会	1	専決処分の承認を求めることについて(平成 2 6 年度湯梨浜町一般会計補正予算(第 7 号))
			教育長の報告 2 件、報告連絡事項 3 件、その他
27. 2. 25	第 2 回定例会	2	平成 2 6 年度湯梨浜町一般会計補正予算(第 8 号)について
		3	平成 2 7 年度湯梨浜町一般会計当初予算について
		4	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について
		5	湯梨浜町立認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定について
		6	湯梨浜町立小学校、中学校及び幼稚園設置条例等の一部を改正する条例

			について
		7	湯梨浜町教育行政点検評価委員会設置要綱の制定について
		8	平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
		9	平成26年度湯梨浜町一般会計補正予算（第9号）について
			教育長の報告2件、協議事項1件、報告連絡事項4件、その他
27.3.10	第3回臨時会	10	平成27年度県費負担教職員の人事内申について
		11	平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			その他
27.3.25	第4回定例会	12	湯梨浜町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について
		13	湯梨浜町教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
		14	湯梨浜町教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則について
		15	湯梨浜町教育委員会事務局組織等に関する規則の一部を改正する規則について
		16	湯梨浜町教育委員会事務局及び教育機関の職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について
		17	湯梨浜町教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
		18	湯梨浜町教育委員会及び教育機関公印規則の一部を改正する規則について
		19	湯梨浜町立幼稚園管理規則を廃止する規則について
		20	行政委員会等に対する事務委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則
		21	湯梨浜町総合教育会議設置要綱の制定について
		22	湯梨浜町新中学校開校準備委員会設置要綱の制定について
		23	湯梨浜町教育委員会の職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する要綱の一部を改正する訓令について
		24	湯梨浜町特定新規学卒者就職支度金支給規則を廃止する規則について
		25	教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免等について
		26	湯梨浜町人権教育推進員の任命について
		27	湯梨浜町各地域公民館運営委員会委員の委嘱について
		28	湯梨浜町スポーツ推進委員の委嘱について
		29	教育財産の用途廃止について
		30	平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告9件、協議事項2件、報告連絡事項1件、その他

※定例会、臨時会を含めて16回、68議案を審議決定した。

《2》 教育委員の活動実績

教育委員の活動としては、町内小・中学校への計画訪問（学校訪問）、各種社会教育事業への参加、県内並びに中部地区各教育委員会で合同の研修会も行っております。

《教育委員の活動状況（平成26年4月～平成27年3月）》

計画訪問（学校訪問）

年月日	学校名等	協議内容等
26.6.6	東郷小学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
26.6.19	泊小学校B	1 授業参観（2・3校時） 2 校長説明・委員質疑
	羽合小学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
26.6.24	東郷中学校B	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（2・3校時）
	北溟中学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
26.10.30	東郷小学校B	1 授業参観（2・3校時） 2 校長説明・委員質疑
	東郷中学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
26.11.12	北溟中学校B	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（2・3校時）
	泊小学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
26.11.13	羽合小学校B	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（2・3校時）

その他主な教育委員活動

年月日	場所等	研 修 内 容 等
26. 4. 2	役場講堂	転入教職員着任式
26. 4. 9	各小中学校	入学式
26. 5. 27	湯梨浜町	平成 26 年度東伯地区教育委員会連絡協議会総会並びに研究大会
26. 6. 14～15	潮風の丘とまり	第 26 回グランド・ゴルフ発祥地大会開会式(委員長が実行委員)
26. 6. 29	ハワイロハホール	ゆりはま人権フォーラム
26. 7. 5	羽合小学校	第 60 回東伯郡民体育大会湯梨浜町選手団結団式
26. 7. 10	倉吉市	平成 26 年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会並びに研究大会
26. 7. 13	湯梨浜町ほか郡内	第 60 回東伯郡民体育大会開会式、各競技会場激励廻り
26. 7. 31	倉吉市他	第 39 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
26. 8. 1	倉吉市	平成 26 年度市町村(学校組合)教育委員会教育委員研修会
26. 9. 6～7	あやめ池スポーツセンター	第 36 回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会
26. 12. 7	ハワイロハホール	湯梨浜町人権フェスティバル
27. 1. 3	ハワイロハホール	湯梨浜町成人式
27. 3. 10	各中学校	卒業式
27. 3. 19	各小学校	卒業式